

## 行政調査報告書「未来型スマートまちづくり特別委員会」

令和6年10月29日～31日

### ■静岡県沼津市 『沼津市中心市街地まちづくりについて』

沼津市の中心市街地でのまちづくりは、鉄道により南北に分断されたまちを、鉄道高架により解決する駅周辺総合整備事業と、駅周辺の公共空間を車中心からヒト中心の空間へ再編する中心市街地まちづくり戦略からなる。

ウォークアブルなまちづくりの取組については、既存の道路幅を有効活用して空間を生み出している。また、駅周辺の地区交通体系を再編し、歩行者回遊動線を確保することで、ヒト中心の公共空間を創出する戦略は参考となった。



### ■Zip Infrastructure 株式会社（福島県南相馬市） 『自走式ロープウェイ Zippar について』



開発中の Zippar は、次世代交通システムで、既存のロープウェイとは異なり、固定されたロープ上を、モータ・バッテリーを搭載したゴンドラが走行する。また、カーブや分岐を自由自在に設けることができ、柔軟な路線設計ができることや、モノレールと比べて約1/5のコストで建設可能であるなどの特徴がある。道路上の空間に設置することが可能で、渋滞に左右されずに走行することができる。

自動運転であることから、運転手不足の課題解消にもつながる。導入に向けて調査を行っている自治体もあり、今後の動向に注視しつつ新たな展開に期待したい。

### ■株式会社泉パークタウンサービス（宮城県仙台市）

#### 『泉パークタウンにおけるスマートシティの取組について』

泉パークタウンは、仙台市中心部から北西へ10 kmに位置し、1969年から三菱地所株式会社による多彩な生活機能を備えた1000haを超える大型開発プロジェクトである。新たに開発された朝日地区は、スマートシティをテーマに様々な先進技術が取り入れられている。コンシェルジュによる荷物預かりや見守りサービス、住民専用の送迎バスなど、いずれも顔認証での利用も実現している。



デジタルプラットフォームを活用したこの地区の様々なサービスは、本市のまちづくりにおいても参考にしたい。